

《研究課題名》

年齢が麻酔薬の QT 延長作用に与える影響の検討

《研究対象者》

当院で 2015 年 5 月から 2024 年 3 月末日までに手術を受けられた方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の麻酔記録やカルテの情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日 ~ 2026 年 12 月 31 日

《研究責任者》 滋賀医科大学 麻酔学講座 福島豊

(2) 研究の意義、目的について

《意義》

心電図上の QT 間隔は心室の脱分極から再分極に至る過程を反映する間隔です。この QT 間隔が延長すると、場合によっては重症の不整脈を生じることがあります。

全身麻酔で使用する麻酔薬の中には副作用として QT 間隔を延長させるものもあります。麻酔薬の主な作用である麻酔作用に関しては、小児は成人よりも高濃度の麻酔薬が必要となりますが、麻酔薬の副作用である QT 間隔の延長には、小児と成人で起こりやすさに違いがあるかはよくわかっていません。このため、本研究ではこの点を明らかにすることで、麻酔の安全性向上に貢献します。

《目的》

麻酔薬の QT 延長作用は年齢により異なるかという問いを明らかにすることを目的としています。

(3) 研究の方法について

《研究の内容》

本研究は、滋賀医科大学附属病院でこれまでに手術を受けられた方の麻酔記録情報やカルテ情報を用いて行う後方視的研究です。

《利用し、又は提供する試料・情報の項目》

麻酔記録やカルテなどの診療記録情報および検査データを利用します。

《試料・情報の管理について責任を有する者》

(4) 個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの試料・情報から、あなたを特定できる情報(氏名、生年月日、住所等)を除き、代わりに本研究用のIDを付けることで、その試料・情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたとIDを結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

(5) 研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(7) 利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の情報を本研究に利用(又は他の研究に提供)することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記(8)にご連絡ください。

(8) 本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 麻酔学講座 福島豊

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

メールアドレス：hqanes@belle.shiga-med.ac.jp